

千代川水害タイムラインについて (報告)

研修会
R元年
7月31日

【研修会】：目標設定と進め方の確認

- 千代川の概要説明
(主な洪水被害、整備状況、洪水浸水想定区域図、平成30年7月豪雨の概要)
- TL作成について (先行事例の紹介、千代川TLのポイント、TL作成手順)
- グループワーキング (TL作成に当たって自機関の行動項目や課題を理解・共有)



発足式
R元年
8月7日

【令和元年度 千代川水害タイムライン発足式】

- 首長挨拶
(鳥取市長、倉吉市長、三朝町長、湯梨浜町長、北栄町長)
- 千代川水害タイムライン検討会・天神川水害タイムライン検討会設置要綱(案)について
- 検討会座長講演
- 千代川・天神川の概要について



第1回検討会
R元年
9月20日

【第1回検討会】：水害リスクの把握、防災行動項目の整理

- 想定災害シナリオの把握
(気象条件について / 浸水状況について)
- グループワーキング (浸水リスクの把握と行動項目の選定・追加、TLレベルごとの防災行動項目の整理、多機関に係る重点行動項目の整理)



第2回検討会
R元年
11月27日

【第2回検討会】：重点行動項目の具体化・細分化

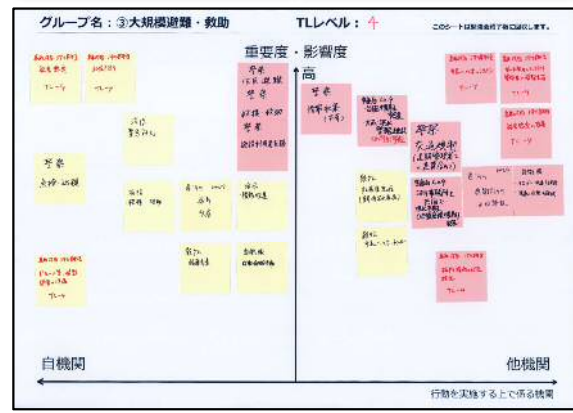
- 研修会、第1回検討会の振り返り
(ワーキング成果・鳥取大学大学院三輪教授の総括の振り返り、TL完成までの流れ、平成10年台風10号の進行経路と千代川流域の降雨特性について)
- グループワーキング
(行動項目を具体化・細分化し、行動手段・手順と、実施する上での課題を抽出)



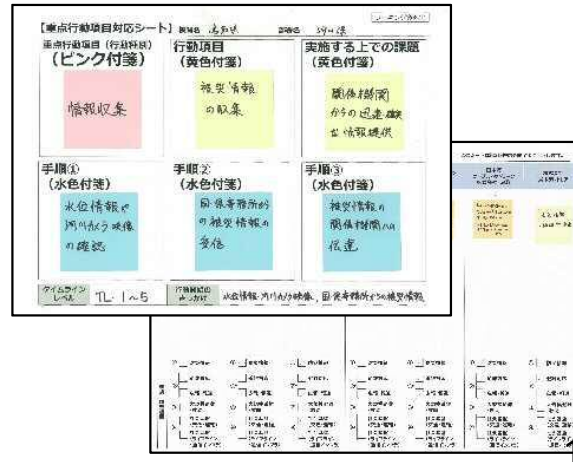
▶ 研修会ワーキング成果

①防災情報 ①災害発生時におけるミッション ・情報の確保、提供、発信 ・ネットラインの活用 ・関係機関との連携 ②タイムラインに期待すること ・関係機関との連携 ・関係機関との連携	②自機関に係る水害リスク ・浸水被害の発生 ・浸水被害の発生 ・浸水被害の発生 ③タイムラインに期待すること ・関係機関との連携 ・関係機関との連携	③報道・避難対応 ①災害発生時におけるミッション ・情報の確保、提供、発信 ・ネットラインの活用 ・関係機関との連携 ②タイムラインに期待すること ・関係機関との連携 ・関係機関との連携	④社会基盤 ①災害発生時におけるミッション ・情報の確保、提供、発信 ・ネットラインの活用 ・関係機関との連携 ②タイムラインに期待すること ・関係機関との連携 ・関係機関との連携
--	---	---	--

▶ 第1回検討会ワーキング成果例



▶ 第2回検討会ワーキング成果例



千代川水害タイムラインについて（報告）

千代川水害タイムライン（素案）作成

【第3回検討会】：行動・連携主体の確認、役割分担の決定

第3回
検討会
R2年
1月24日

- 千代川水害タイムライン（素案）について（TLの立ち上げ・レベル移行・解除、TLの構成TL（素案）について）
- グループワーキング（TL素案の確認、各機関との連携・調整事項の抽出・課題の整理・共有、全体意見交換）



▶ 第3回検討会
ワーキング成果例



千代川水害タイムライン（案）作成

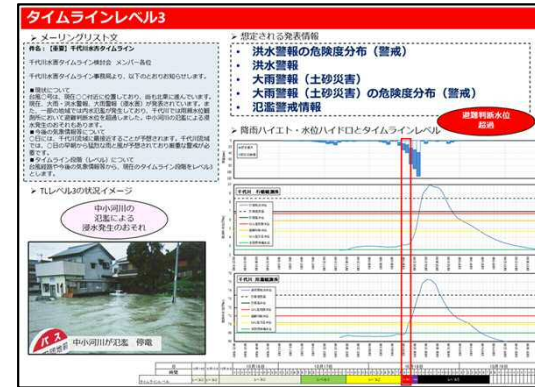
【第4回検討会】全体共有と課題確認

第4回
検討会
R2年
2月26日

- 第2回・第3回検討会の振り返り（ワーキング成果・鳥取大学大学院三輪教授の総括の振り返り、TL完成までの流れ）
- 全体読み合わせ（「顔の見える関係」を実践し、一体感を高めて共通理解を認識。行動項目を主体的・支援を行う機関、及び情報の受信を行う機関を再確認する。またTL（案）において、自機関で行う項目の最終確認を行う。）



▶ コレレベル毎の概要イメージ
（読み合わせ時使用）



千代川水害タイムライン【令和元年度版】作成

検討会・意見照会で挙げられた行動項目を整理し、「千代川水害タイムライン【令和元年度版】」を作成。

【記号分類】

- ◎：主体的に行動する機関
- ：支援または協働する機関
- ☒：メーリングリストで発信する機関
- ☑：情報を発信する機関
- 収：情報を自ら収集する機関
- 受：情報を受ける機関

【文頭記号】

- ☒：メーリングリストで発信する情報

▶ 千代川水害タイムライン
完成イメージ